

## 8. 高校生のための公開講座

看護学部では、2018年度から新たな試みとして高校生のための看護学を学ぶ公開講座を始め、好評を博した。今年度は、新たに「災害看護」と在学生による看護の仕事の紹介を加え、計5回開催を計画した。3月に予定していた会は、新型コロナウイルスの影響を受けて中止した。

内容は、積極的に考える体験をしてもらう目的でグループワークとし、全ての会を通して、多様な価値観の理解と分析的思考の醸成を促すようにした。また、在学生がファシリテーションを行った。災害看護をテーマとした会は、高知医療センターと本学の合同災害訓練の様子を見学した。計38人が参加し、香川と広島からの参加もあった。実施後のアンケート調査では満足度が高く、2回とも高校生にとっては難しい課題であったが、参加した高校生からの反応は、良好であった。